

12月になりました。一年間が、あっという間に過ぎた気がします。

令和2年12月1日（火） 篠原校長

早いもので、令和2年も12月となってしまいました。新年の挨拶を「令和2年が始まりました。今年は、ねずみ年です。何かが始まるスタートの年、様々なことが変革する年です。」と、つい最近、話したように感じるくらい、あっという間に11ヶ月が過ぎた感じがしています。新型コロナウイルス感染症が、世界中で蔓延して、様々なことが中止になり、自粛生活を余儀なくされ、当たり前の日常が奪われてしまいました。しかし、医療従事者たちは、今でも懸命にウイルス感染症と戦い、治療を進めています。人々は、人とのつながりをネットワークに求め、リモートワークなどの働き方改革や、コロナ対応の新しい生活様式へと変化を進めています。これから増々、私たち一人一人が、最善のできることを考え、協力して実行していくことが大切ですね。

午前中9時から、PTA理事会・役員会がありました。12月5日（土）に「親子レクリエーション」が企画されています。その準備について話し合いがもたれました。

①ペットボトルボウリング、②ボールあて、③あめつかみ、④巾着釣り、⑤ビンゴゲームが、用意されています。感染症対策を徹底して行いながら、楽しい思い出の時間にしたいと、皆張り切っています。

学校では、中学部が、期末考査を頑張っています。視聴覚室を試験会場にして、一斉の試験で行います。真剣そのもので、カリカリという鉛筆の音だけが聞こえる緊張した雰囲気の中で行われています。

良い点数がとれるように祈っています。

